

科目名	子どもの理解と援助（保育士必修：幼稚園教諭二種必修）		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2023年度 前期	単位数	1
担当教員	郭 小蘭		
内容および計画	<p>【授業の目的】 本科目は幼稚園教諭二種免許と保育士資格を取得する必修科目である。本科目を学修することにより、子どもの発達や心情に寄り添い、子どもの育ちと学びを適切にとらえる力を身につけることができる。また、子どもの振る舞いや言動に対して、共感・応答的な関わり・受容というような保育者としての基礎的な態度で関わり、柔軟に子どもの育ちを支える援助能力を身につけることができる。</p> <p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① なぜ幼児理解が保育実践の出発点であるといえるかについて説明できる。 ② 保育者は子どもの気持ちがわかっているかについて専門意識をもてる。 ③ 保育者の願いは子どものためになっているかについて専門知識で言える。 ④ 園生活での経験により子ども自身が自らの力で様々なことを学んでいると自覚する。 ⑤ 子どもの遊びの姿から仲間関係の発達を理解できる。 ⑥ けんかやつまずきが集団生活の学びに必要なであると理解できる。 ⑦ 学級運営における環境づくりについて具体的に理解できる。 ⑧ 環境の変化と移行に伴う子ども及び保護者の戸惑いについて共感できる。 ⑨ 観察・記録の視点を身につける。 ⑩ 保育記録を書ける。 ⑪ 保育記録における自己課題を自覚する。 ⑫ 特別な配慮を要する子ども及びその保護者の抱える困難を理解できる。 ⑬ 家族成員の関係及び情緒の安定性が子どもの育ちへの影響を理解できる。 ⑭ 発達や学びの連続性を意識できる。 ⑮ 子どもの理解及び援助方法における自己課題を自覚できる。 <p>【授業概要】 子どもの理解の意義や重要性を理解し、保育実践と結びつけて考察する。具体的には、子どもの発達と学びをとらえ、子どもを理解する際に必要となる視点や方法について学ぶ。特別な配慮を要する子どもへの援助や幼小連続、子育て支援など、子どもを巡る現代の課題についても学ぶ。</p> <p>【授業方法】 到達目標に応じてDVDなどの視聴・要点解説・少人数でのグループワーク・ICTを活用する。対話型授業で行う。</p>		
1	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスの説明 ・保育実践の出発点としての幼児理解 ー幼児理解と指導計画案の作成・実施・評価との関係を学ぶ 		
2	子どもの自己表現と受容する保育者との信頼関係 <ul style="list-style-type: none"> ・DVD 視聴（保育者は遊びが邪魔されたくないかなちゃんにどのように関わるか） ・グループワークで学びを伝え合う 		
3	子どもの遊び続けたい気持ち 対 集団活動に参加してほしい保育者の願い （共感しながら誘導していく援助方法） <ul style="list-style-type: none"> ・DVD 視聴（「とことん遊ぶ」） ・要点解説 ・グループワークで学びを伝え合う 		
4	子どもの遊んでいる姿から子どもの育ちと学びを読み解く（評価） <ul style="list-style-type: none"> ・DVD の主人公かなちゃんについて事例検討 ・classroom を活用して履修生全員が討議に参加し、考えを深める 		
5	子どもの仲間関係と遊び <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの姿から仲間関係の発達を読み解く （教科書の内容についてのグループワーク） ・DVD 視聴（保育場面における子どもの姿の理解） 		
6	けんかやつまずきの場面から個の育ちと集団の育ちを読み解く		

	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD 視聴（けんかの場面・気になる子どもの事例から学ぶ） ・グループワークで考えを学び合う
7	<ul style="list-style-type: none"> ・集団での活動の意義（まねして学び合う・コミュニケーション能力習得等） ・集団での活動と環境づくり（教科書の内容） classroom を活用して全員が討議に参加し考えを深める
8	環境の変化と移行について <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料に基づく解説 ・履修生自身の体験をグループワークで語り合う
9	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・記録の方法と分析・考察の視点 (DVD 視聴・教科書や配布資料の要点解説)
10	演習： <ul style="list-style-type: none"> ・DVD を視聴する（砂遊びから見る子どもの発達） ・保育者のつもりで観察・記録を書く
11	発表： <ul style="list-style-type: none"> ・観察・記録のまとめ方のコツについてグループワーク ・classroom を活用して、履修生全員が討議に参加し、視野を広げる
12	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な配慮を要する子どもとの関わり方 (DVD 視聴「ダッコおしまい あそぼう」) ・特別な配慮を要する子どもの保護者支援（「送迎時の会話」の模擬保育）
13	演習： <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の心情理解と家庭への支援方法（園内園外の協力体制づくりと連携のあり方を含む） ・模擬保育で家族の心情理解（親子を支えるカウンセリング）
14	幼児教育から小学校教育へ <ul style="list-style-type: none"> ・DVD 視聴（子どもの戸惑いと教師の工夫「1ねんせいになるってことは」） ・学びの芽生え、自覚的な学び、幼児期の終わりまでに育ててほしい姿（教科書の内容） ・保幼小連携と接続期カリキュラム ・就学支援と保護者支援
15	本科目履修による自己成長を振り返る <ul style="list-style-type: none"> ・ミニレポート ・ミニレポートの要点を classroom で共有し、視野の広がりや学びの深まりを確認する

教科書

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
乳幼児教育・保育シリーズ 教職課程コアカリキュラム・ 保育士養成課程準拠 子どもの理解と援助 育ち・学びをとらえて支える	無藤 隆・堀越紀 香 丹羽さかの・古賀 松香 編著	光生館	9784332702047	2023

- (1) 図書館にある DVD を教材として使用する。授業時間外に詳しく視聴することが望ましい
- (2) 事前に classroom に課題やレジュメなどの資料を掲載するので事前に読んできてください
予習してきている前提で授業を展開する。
- (3) 自らも主体的・対話的で深い学びとなるよう保育者としての専門意識をもって授業に臨んで
ください

参考書	<ol style="list-style-type: none"> (1) 授業のレジュメに記載してある書籍 (2) 図書館にある DVD・保育雑誌
-----	---

成績評価	
評価方法	割合(%)
「内容欄」に記載されている到達目標の達成度（理解度・文章力から A,B,C3 段階評定）	70
リアクションペーパーやミニレポート（理解度・文章力・自分の考えの有無から A,B,C3 段階評定）	20
授業中の取り組み（集中力・討議の参加度などから A,B,C3 段階評定）	10
予習課題やレジュメを事前に読んでくること・配布資料の復習・表現力が必要である。	
学習到達目標	内容欄に記載してある。
先修条件	
実務経験	（１）児童養護施設で心理士を務めていたことがある。 （２）会津地域でスクールカウンセラーを長年務めていたことがある。
その他	共に充実した内容の楽しい授業をつくっていきましょう。 学修者の成長を身近で見守るのが楽しみです。